

適応疾患 療法名	薬剤 1日投与量・方法	投与時間	投与日	投与ルート	投与間隔、総コース	主な副作用	適応
肝細胞がん	ミリプラチン肝動注 ミリプラチン 70mg/V(懸濁液3. 5mLで調整) ※上限を1回6mL(ミリプラチンとして120mg)とする。	腫瘍血管に懸濁液が充満したら	1日1回	カテーテルより(DEHPフリー)	1日1回 繰り返し投与する時は4週間以上の観察期間をおく	骨髄抑制、悪心嘔吐、(貧血) 肝機能障害、発熱	肝細胞癌におけるリビオドリゼーション
	エピルビシン肝動注 エピルビシン 60mg/m ² まで	腫瘍血管に懸濁液が充満したら	1日1回	カテーテルより(DEHPフリー)	1日1回 繰り返し投与する時は4週間以上の観察期間をおく	骨髄抑制、悪心嘔吐、(貧血) 肝機能障害、発熱	肝細胞癌におけるリビオドリゼーション
	アテゾリズマブ+BV アテゾリズマブ 1200mg/body BV 15mg/kg	初回90分 以降以降30分 ※1	DAY1	点滴静注DIV	1コース21日間	骨髄抑制、悪心嘔吐、(貧血)、 高血圧、下痢、蛋白尿、全身倦怠感、 便秘、咳嗽	※1 ベバシズマブ 初回90分2回目以降60分3回目以降30分でも可 切除不能な肝細胞癌
	レンパチニブ レンパチニブ 1日1回 8-12mg		連日	経口	連日	高血圧、下痢、手足症候群、食欲減退、 蛋白尿、疲労、発生障害、出血、 血栓塞栓症、肝腎障害、消化管穿孔、 間質性肺疾患、甲状腺機能低下	切除不能な肝細胞癌
	デュルバルマブ+トレメリマブ トレメリマブ 300mg/body デュルバルマブ 1200mg/body	60分かけて 60分かけて	DAY1 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV	1コース28日間	インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、 肝・腎・心・肺障害、血栓塞栓症、 間質性肺炎、大腸炎、下痢、 重度の皮膚障害	切除不能な肝細胞癌
	デュルバルマブ単剤療法(トレメリマブ併用後) デュルバルマブ 1200mg/body	60分かけて	DAY1	点滴静注DIV	1コース28日間	インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、 肝・腎・心・肺障害、血栓塞栓症	